

8月9日

2017年
(平成29年)

水曜日

第18893号(日刊)

土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

鉄鋼新聞

(第三種郵便物認可) 平成29年(2017年)8月9日 (水曜日)

極厚・大型のBH加工強化

桂スチール 岡山第2工場で3棟増設

ビルトH形鋼加工最大手の桂スチール(本社・兵庫県姫路市、社長・三木桂吾氏)は、岡山第2工場(備前市吉永町)で、新たに工場棟3棟を建設し、さらなる極厚・大型のBH加工を手掛けるほか、イタリア製大型加工機の導入で「溶断」「組立溶接」「矯正」「切断」「開先」「穴あけ」までを一貫して生産可能とし、さらには国内初となる構真柱・十字柱の機械加工(自動化)を目指す。

「構真柱・十字柱」製作も自動化

これらの一連の第2工場増強投資は年内にも完了する予定で、これらの一連の第2工場増強投資は年内におよび「瞬発力を高め、自動化を進めて生産の効率化を進め、さらには国内初となる構真柱・十字柱の機械加工(自動化)を目指す。また、東京五輪後の建築需要減に対応できるよう、土木など他産業分野における鋼構造物需要の取り込みも進める。

新事務所・社員寮が竣工

桂スチールはこのほど、岡山第3工場(備前市三石)で新事務所棟などを竣工し、同施設での業務を開始した。鉄構事業本部は、これまで岡山第1工場(備前市三石)で業務を行っていたが、より利便性のある第3工場に移転した。また、同事業本部は溶接現場を体感できるVR(仮想現実)を導入し、実技研修に採り入れることで、溶接技能向上に役立てるほか、顧客へのプレゼン用としての利用も考えている。



竣工した新事務所棟と社員寮(右下)

▽所在地 岡山 備前市三石 200番地
▽TEL (代表) 0869-6212000
▽FAX (営業部) 0869-6212313

加工できるBHは、ウレ。また、これまではエブ高1500×フラ板厚40までワンピース幅800が最大で溶接できたが、新溶だった。新工場では接機の導入で60まで最大2500×120を1回で溶接できるよ0まで一貫加工できるようにする。

高層ビルなど大型構造物で工期短縮のメリットがある逆打ち工法で地下部を支える構真柱(十字柱など)は、これまで手作業で製作し

む。第2工場増強に伴い外国人研修生を主な対象に人材を確保できるように、同工場周辺に社員寮も建設する。このほかの設備投資として、同社は岡山県を中心にBH工場や厚板溶断工場を有しており、それらの各工場設備更新を進める予定。プラズマ溶断機で計2基、NCガス溶断機で計5基のリプレースを予定しているほか、第3工場では作業員の安全確保・作業効率の向上を目的として、既存クレーンをリフティ

術開発力を生かし、国内初となる構真柱の製作自動化にも取り組

ングマグネットに更新する予定。太陽光発電設備を増設する計画もあり、兵庫県たつの市新舞子で600キロワットの発電を開始する。これにより同社は合計で10メガワット以上の太陽光発電を手掛けることになる。